

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 08080980 A

(43)Date of publication of application: 26.03.96

(51)Int. Cl. B65D 83/08
// A47K 10/42

(21)Application number: 06217110

(22)Date of filing: 12.09.94

(71)Applicant: UNI CHARM CORP DAINIPPON
PRINTING CO LTD

(72)Inventor: KIMURA NORIYUKI
WADA MITSUHIRO
UENISHI TOSHIHIKO

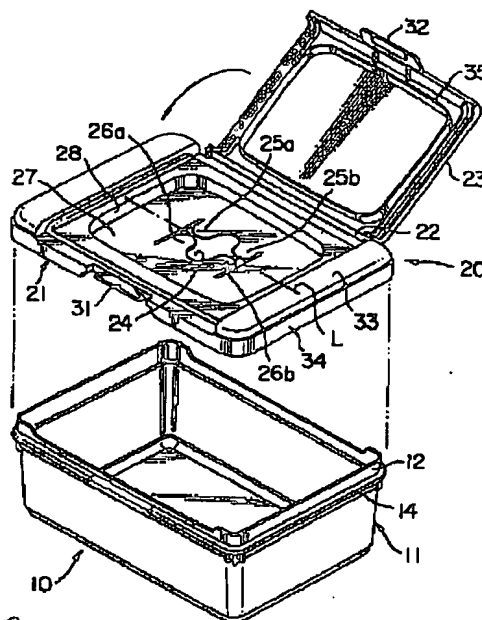
(54)CONTAINER FOR WET TISSUE

(57)Abstract:

PURPOSE: To smoothly draw out wet tissues stored in a container body, one by one, using the same drawing force.

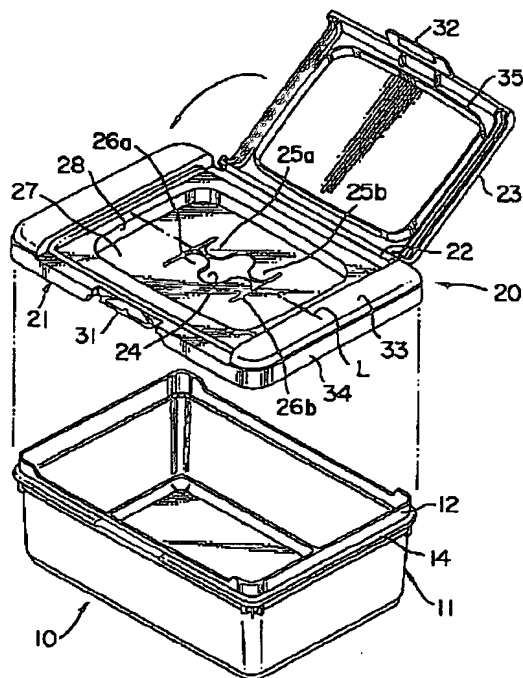
CONSTITUTION: A container 10 for wet tissue includes a container body 11 and a cover device 20 adapted to be fitted in the container body 11. The cover device 20 has a cover body 21 to tightly seal an upper opening of the body 11 and a takeout port 24 is formed on the body 21. In the takeout port 24, there are provided a pair of protruding pieces 25a, 25b and a pair of protruding pieces 26a, 26b which are arranged symmetrically with the pieces 25a, 25b with respect to a symmetry line L. The symmetry line L is approximately parallel with fold lines of wet tissue.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO



side wall not diverging
no incline to rounded wall
strip not a plane below

(11)特許出願公開番号



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 折曲部を形成して折畳まれて積層配置されたウェットティッシュを内部に収納するとともに上方が開口された容器本体と、この容器本体に嵌込まれる蓋装置とを備えたウェットティッシュ用容器において、前記蓋装置は前記容器本体の開口を密閉するとともに、

取出口が形成された蓋本体を有し、前記取出口には、その一方の側縁から突出する一対の第 1 突片と、他方の側縁から突出するとともに前記折曲部と略平行の対象線に関して前記一対の第 1 突片と対象に

配置された一対の第 2 突片が設けられ、対応する第 1 突片と第 2 突片との間でウェットティッシュの挟持部を形成したことを特徴とするウェットティッシュ用容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は水または化粧水等の液体が含浸されたウェットティッシュを収納するウェットティッシュ用容器に係り、とりわけウェットティッシュの取出しを容易に行なうことができるウェットティッシュ用容器に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より、折畳まれて積層配置されたウェットティッシュを収納するウェットティッシュ用容器が知られている。このようなウェットティッシュ用容器は、ウェットティッシュを内部に収納する容器本体と、この容器本体の開口を密閉する蓋装置とを備えている。

【0003】 また蓋装置には、容器本体内のウェットティッシュを取出すための取出口が形成され、この取出口からウェットティッシュを一枚ずつ取出している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上述のように、従来のウェットティッシュ用容器内に収納されたウェットティッシュは、蓋装置の取出口から一枚ずつ取出される。取出口からウェットティッシュを引出す際、次に位置するウェットティッシュが取出口に引掛って停止する。その後、取出口に引掛っているウェットティッシュが引出され、このようにして取出口からウェットティッシュを容易に引出すことができる。

【0005】 ところで、ウェットティッシュは、上述のように、一枚ずつ折畳まれて積層されており、ウェットティッシュの折曲部は一枚ずつ交互に入れ替わっている。このため、取出口の形状が左右非対象であると、ウェットティッシュの取出口における引掛りの状態が異なり、ウェットティッシュ一枚ずつの引出力が異なることがある。

【0006】 本発明はこのような点を考慮してなされたものであり、ウェットティッシュ一枚ずつを略同様の力で

容易に引出すことができるウェットティッシュ用容器を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明は、折曲部を形成して折畳まれて積層配置されたウェットティッシュを内部に収納するとともに上方が開口された容器本体と、この容器本体に嵌込まれる蓋装置とを備えたウェットティッシュ用容器において、前記蓋装置は前記容器本体の開口を密閉するとともに、取出口が形成された蓋本体を有し、前記取出口には、その一方の側縁から突出する一対の第 1 突片と、他方の側縁から突出するとともに前記折曲部と略平行の対象線に関して前記一対の第 1 突片と対象に配置された一対の第 2 突片が設けられ、対応する第 1 突片と第 2 突片との間でウェットティッシュの挟持部を形成したことを特徴とするウェットティッシュ用容器である。

【0008】

【作用】 容器本体内に収納されたウェットティッシュを摘んで引上げと、対応する各第 1 突片と各第 2 突片との間の挟持部で次のウェットティッシュが挟持される。一対の第 1 突片と一対の第 2 突片は、ウェットティッシュの折曲部と略平行の対象線に関して対象に配置されているので、ウェットティッシュ一枚ずつの引出力が異なることはない。

【0009】

【実施例】 以下、図面を参照して本発明の実施例について説明する。図 1 乃至図 3 は本発明によるウェットティッシュ用容器の一実施例を示す図である。

【0010】 図 1 および図 2 において、ウェットティッシュ用容器 10 は、内部にウェットティッシュ 41（図 3 参照）を収納する上方開口型の容器本体 11 と、容器本体 11 に嵌込まれる蓋装置 20 とを備えている。容器本体 11 の開口周縁には、下部周縁突部 12 が設けられ、この下部周縁突部 12 は、後述する蓋装置 20 側の上部周縁突部 34 内に嵌込まれるようになっている。

【0011】 また蓋装置 20 は、容器本体 11 の開口を密閉する蓋本体 21 と、蓋本体 21 にヒンジ部 22 を介して一体成形された開閉蓋 23 とを有している。蓋本体 21 は、その略中央部の薄板 27 と、薄板 27 の外側に段部 28 を介して設けられた外枠 33 とを有している。

【0012】 また、薄板 27 には、ウェットティッシュ 41 を取出すための取出口 24 が形成され、さらに外枠 33 の周縁には容器本体 11 側の下部周縁突部 12 の外側に嵌込まれる上部周縁突部 34 が設けられている。

【0013】 さらに、開閉蓋 23 の内面には、段部 28 に嵌込まれる枠体 35 が設けられている。そしてヒンジ部 22 を中心として開閉蓋 23 を回動し、段部 28 に枠体 35 を嵌込むことによって、開閉蓋 23 が取出口 24 を密閉するようになっている。また外枠 33 の一側縁には係止片 31 が取付けられ、開閉蓋 23 には係止片 31

と係合する係合片32が取付けられている。

【0014】次に薄板27に形成され取出口24について詳述する。図1および図2に示すように、取出口24には、取出口24の一方の側縁から突出する一対の第1突片25a、25bと、一方の側縁に対向する他方の側縁から突出する一対の第2突片26a、26bとが設けられている。

【0015】図2に示すように、一対の第1突片25a、25bと一対の第2突片26a、26bとは、対象線Lに関して対象に配置されており、この対象線Lは後述するウェットティッシュ41の折曲部42と略平行に延びている。また互いに対応する突片、例えば第1突片25aと第2突片26aとの間には挟持部24aが形成され、また第1突片25bと第2突片26bとの間には挟持部24bが形成され、これら挟持部24a、24bにおいてウェットティッシュ41が挟持されるようになっている。またウェットティッシュ41は、第1突片25a、25bおよび第2突片26a、26bと、薄板27の取出口24側の側縁27a、27bとの間でも挟持される。

【0016】なお、上述したウェットティッシュ用容器10を構成する容器本体11および蓋装置21は、いずれもポリプロピレンを用いたインジェクション成形により得られる。

【0017】次に図3により、容器本体11内に収納されるウェットティッシュ41について説明する。図3に示すように、ウェットティッシュ41は柔軟なシートからなる密閉袋40内で折叠まれて積層配置され、この密閉袋40によって密閉される。各ウェットティッシュ41は折曲部42を形成して略二つ折りされ、各ウェットティッシュ41の折曲部42は交互に入れ替わっている。またウェットティッシュ41の二つ折りされた下半分41bは、下方に配置するウェットティッシュ41の上半分41aと下半分41bとの間に挿入されている。このためウェットティッシュ41を一枚ずつ摘んで取出した場合、取出したウェットティッシュ41の下半分41bが、下方に位置するウェットティッシュ41の上半分41aを引張り上げるようになっている。また密閉袋40の上端に開口40aが設けられ、この開口40aは密閉袋40上面に取外自在に貼付けられた蓋片45により密閉されている。

【0018】ウェットティッシュ41の素材としては、例えば、不織布、紙、ガーゼ等の繊維素材やシート状の発泡体が用いられる。またウェットティッシュに含ませる液体としては、化粧水や乳液等の化粧品が考えられる。

【0019】次にこのような構成からなる本実施例の作用について説明する。

【0020】まず、密閉袋40内にウェットティッシュ41を折畳んで積層配置し、開口40aを蓋片45によ

り密閉する(図3)。次に、密閉袋40内に密閉されたウェットティッシュ41が、図1に示す容器本体11内に収納され、その後蓋片45が開口4aから取外される。

【0021】その後、容器本体11の下部周縁突部12の外側に、蓋装置20側の上部周縁突部34が嵌込まれて、容器本体11の上方開口が蓋装置20の蓋の本体21によって密閉される。

【0022】この場合、容器本体11の下部周縁突部12の下方に設けられたフランジ部14と、上部周縁突部34の内面に設けられた図示しないリブとが係合して、容器本体11に蓋装置20が堅固に係止される。

【0023】次に開閉蓋23がヒンジ部22を中心として回動し、開閉蓋23が開となる。次に蓋本体21の取出口24からウェットティッシュ41を指で摘んで上方へ引張る。その後、連続して、ウェットティッシュ41を引張ることにより、第1番目のウェットティッシュ41を容器本体11内から取出すことができる。この場合、第2番目のウェットティッシュ41の上半分41aが、第1番目のウェットティッシュ41の下半分41bによって引張られる。そして、第2番目のウェットティッシュ41の上半分41aが、取出口24の第1突片25aと第2突片26aとの間の挟持部24aおよび第1突片25bと第2突片26bとの間の挟持部24bに引掛かった時点で、第2番目のウェットティッシュ41が停止する。この時第2番目のウェットティッシュ41は、例えば側縁27aと第1突片25aとの間および側縁27bと第1突片25bとの間でも挟持され、ウェットティッシュ41の中央部は第2突片26a、26b間に入り込む。

【0024】次に挟持部24a、24bに引掛かった第2番目のウェットティッシュ41の上半分41aを引張ることにより、第2番目のウェットティッシュ41の取出しが容易となる。この時、第3番目のウェットティッシュ41は、側縁27aと第2突片26aとの間および側縁27bと第2突片26bとの間でも挟持され、ウェットティッシュ41の中央部は第1突片25a、25b間に入り込む。

【0025】この場合、一対の第1突片25a、25bと、一対の第2突片26a、26bは、各ウェットティッシュ41の折曲部42と略平行の対象線Lに関して対象に配置されているので、各ウェットティッシュ41は略同一の引掛り状態で挟持部24a、24bに挟持されるとともに、第1突片25a25bおよび第2突片26a、26bと、側縁27a、27bとの間で挟持される。すなわち、各ウェットティッシュ41の折曲部42は、対象線Lを中心として交互に入れ替わっている。ウェットティッシュ41を引上げる際、例えばあるウェットティッシュ41が一対の第1突片25a、25bを主として押上げて引出されると、次のウェットティ

5

ッシュ41は一对の第2突片26a、26bを主として押上げて引出されることになる。この場合、上述のように一对の第1突片25a、25bと、一对の第2突片26a、26bは対称線Lに関して対象となっているので、ウェットティッシュ41の引出力が一枚ずつ異なることはない。また次のウェットティッシュ41は、順次略同一の引掛り状態で挟持部24a、24bに挟持されるとともに、第1突片25a、25bおよび第2突片26a、26bと、側縁27a、27bとの間で挟持される。

【0026】次に取出口24を開閉蓋23で密閉する場合は、ヒンジ部22を中心として開閉蓋23を取出口24側へ回動する。そして開閉蓋23の枠体35を蓋本体21の段部28に嵌込むとともに、係止片31に係合片32を係合させて取出口24を開閉蓋23で密閉する。

【0027】以上説明したように、本実施例によれば、容器本体11内に収納されたウェットティッシュ41を摘んで上げると、対応する第1突片25aと第2突片26aとの間の挟持部24a、および第1突片25bと第2突片26bとの間の挟持部24bによって、次のウェットティッシュ41が挟持されるとともに、第1突片25a、25bおよび第2突片26a、26bと、側縁27a、27bとの間で挟持される。この場合、一对の第1突片25a、25bと一对の第2突片26a、26bは、各ウェットティッシュ41の折曲部42と略平行の対象線Lに関して対象に配置されているので、各ウェットティッシュ41は略同一の引掛り状態で挟持部24*

6

* a、24bに挟持されとともに、第1突片25a、25bおよび第2突片26a、26bと、側縁27a、27bとの間で挟持され、また略同一の引出力で引出される。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ウェットティッシュの引出力が一枚ずつ異なることはなく、また次のウェットティッシュは順次略同一の引掛り状態で挟持部に挟持される。このため安定したウェットティッシュの引出作業を行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によりウェットティッシュ用容器の一実施例を示す斜視図。

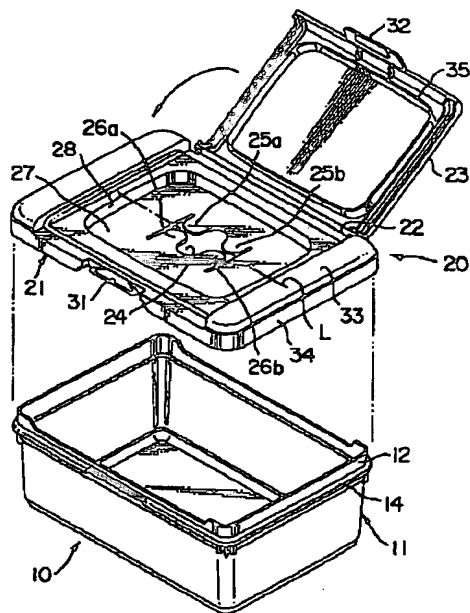
【図2】ウェットティッシュ用容器の取出口部分を示す平面図。

【図3】ウェットティッシュを収納した密閉袋を示す側断面図。

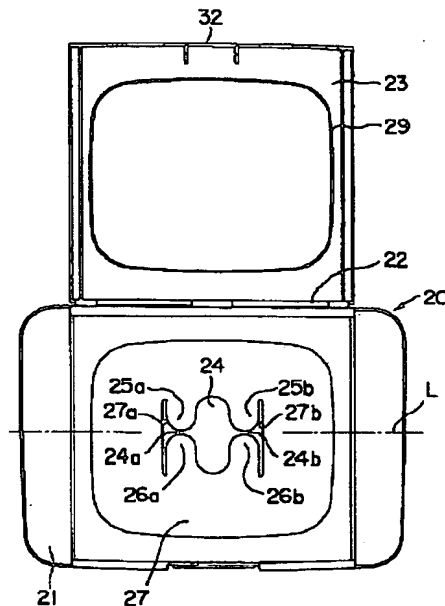
【符号の説明】

- 10 ウェットティッシュ用容器
- 11 容器本体
- 20 蓋装置
- 21 蓋本体
- 23 開閉蓋
- 24 取出口
- 25a、25b 一对の第1突片
- 26a、26b 一对の第2突片
- 41 ウェットティッシュ

【図1】



【図2】



【図3】

